

高城町文化財調査報告書 第8集

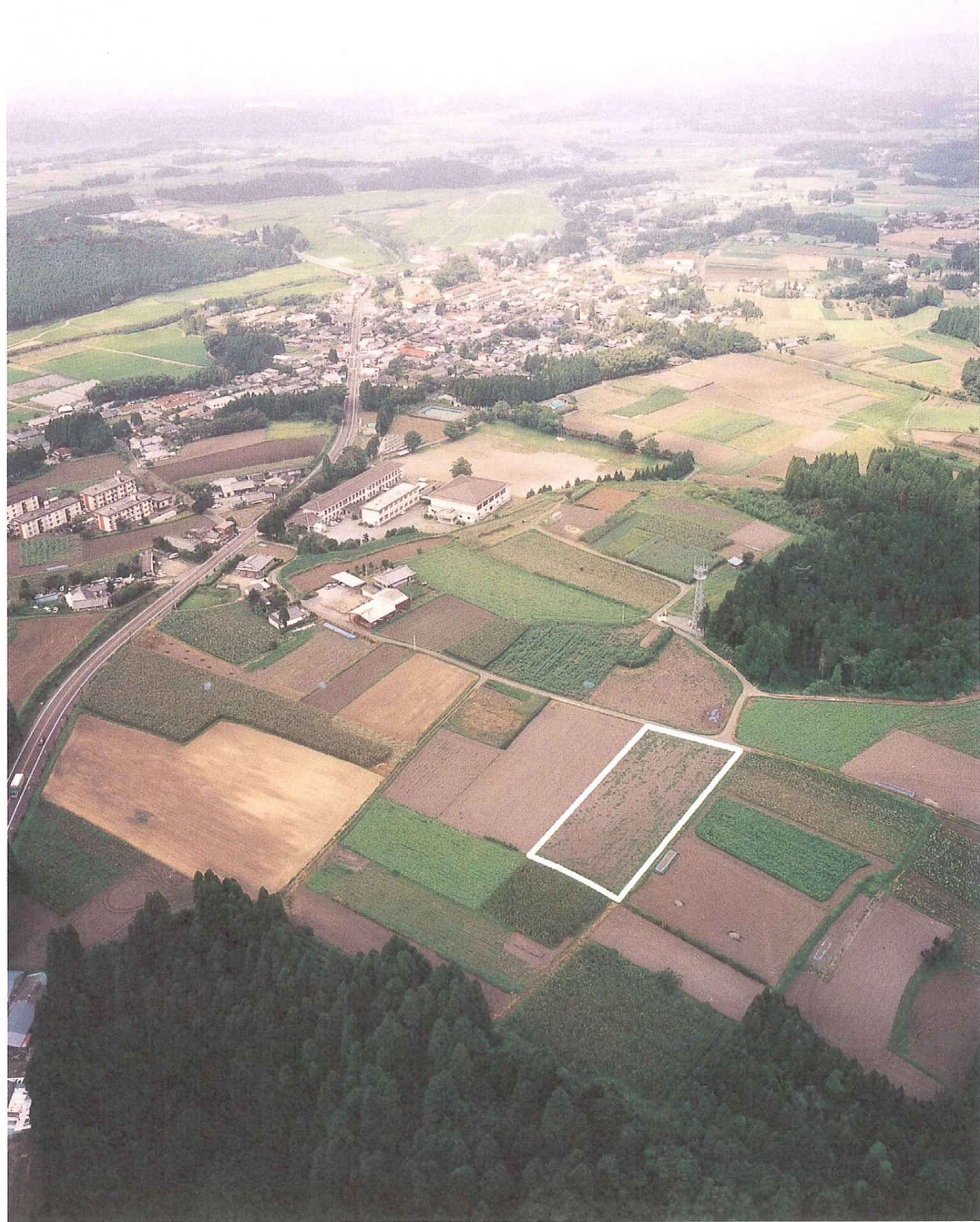
かみ べっ ぶ
上 別 府 遺 跡
げ の
下 野 遺 跡

平成10年度葉タバコ反転客土事業に伴う埋蔵文化財

発掘調査概要報告書

1999

宮崎県北諸県郡高城町教育委員会



上別府遺跡発掘調査前空中写真

序

この報告書は、葉タバコ反転客土事業に伴い、高城町教育委員会が実施した高城町大字有水字下野、上別府に所在する下野遺跡・上別府遺跡の発掘調査の記録です。

今回の発掘調査では、縄文時代から平安時代にかけての数多くの貴重な資料を得ることができました。

特に、平安時代の掘立柱建物は町内最大の掘立柱建物で、今後の町民各位の歴史研究や文化財保護の向上に寄与することと期待しています。

また、葉タバコ反転客土事業の有水、四家地区予定地の試掘調査を行い、遺跡の所在の有無についても確認し、開発事業の調整の基礎資料になるよう行ってきました。

末筆ながら、遺跡の調査及び整理、本書の作成に際し、多大なるご協力、ご理解を賜った、高城町たばこ耕作振興会、高城町農林振興課、宮崎県教育委員会文化課、各関係機関、町民各位の皆様方に深く感謝を申し上げます。

平成11年3月

高城町教育委員会
教育長 新 地 文 雄

例 言

- 1、本書は、宮崎県北諸県郡高城町大字有水、四家における葉タバコ反転客土事業に伴い、平成10年度に実施した下野遺跡・上別府遺跡の発掘調査及び試掘調査概要報告書である。
- 2、発掘調査は平成10年8月5日から12月4日まで実施した。
- 3、試掘調査は平成10年8月20日から12月4日の期間内の30日間実施した。
- 4、発掘調査は高城町教育委員会が主体となり、高城町教育委員会社会教育課主査白谷健一が担当した。
- 5、調査組織は以下のとおりである。

調査主体	高城町教育委員会	
	教育長	新地文雄
	社会教育課長	有村修一（平成11年2月まで）
	課長補佐兼文化係長	田中孝明
調査担当	町社会教育課主査	白谷健一

- 6、本書の執筆及び編集は白谷が行った。
- 7、出土遺物や写真、図面については高城町教育委員会で保管している。
- 8、空中写真については（株）スカイサーベイに委託した。

本文目次

第 I 章	下野遺跡・上別府遺跡	
	1、調査に至る経緯	1
	2、遺跡の立地と環境	1
	3、調査の概要	1
	4、まとめ	3
第 II 章	葉タバコ反転客土工事に伴う試掘調査	
	1、調査に至る経緯	4
	2、調査の内容	4
	3、まとめ	5
	報告書抄録	10

挿図目次

第 1 図	下野遺跡・上別府遺跡位置図	2
第 2 図	有水地区試掘調査場所位置図 1	11
第 3 図	有水地区試掘調査場所位置図 2	12
第 4 図	有水地区試掘調査場所位置図 3	13
第 5 図	有水地区試掘調査場所位置図 4	14
第 6 図	有水地区試掘調査場所位置図 5	15
第 7 図	四家地区試掘調査場所位置図 1	16
第 8 図	四家地区試掘調査場所位置図 2	17

表目次

第 1 表	有水地区試掘調査概要一覧表	6
第 2 表	四家地区試掘調査概要一覧表	9

図版目次

巻頭図版	上別府遺跡発掘調査前空中写真
図版 1	下野遺跡 (1回目)
図版 2	下野遺跡 (2回目)
図版 3	上別府遺跡 (1回目)
図版 4	上別府遺跡 (2回目)
図版 5	下野遺跡掘立柱建物跡
図版 6	試掘調査トレンチ(有水⑥)
	試掘調査トレンチ(有水⑬)
図版 7	試掘調査トレンチ(有水⑳)
	試掘調査トレンチ(有水㉑)
図版 8	試掘調査トレンチ(有水㉒)
	試掘調査トレンチ(四家③)

第 I 章 下野遺跡・上別府遺跡

1、調査に至る経緯

平成9年度に高城町大字有水、四家において、葉タバコ反転客土事業を行うという計画が高城町農林振興課より提出され、事業予定地内の埋蔵文化財の有無が問題となった。

高城町教育委員会としては、事業予定地がすべて台地上の畑に位置し、遺跡が立地する有望な場所のため、遺跡の有無を確認する試掘調査を行うこととしたが、高城町内で他に発掘調査を行っていたため、早急に試掘調査を行うことができなかった。そのため宮崎県文化課、高城町農林振興課、高城町社会教育課の三者での協議の結果、事業の遅延ができないということで急ぐ事業予定地から県文化課で試掘調査を行うこととなり、高城町教育委員会が行っている発掘調査が終了し、高城町教育委員会で試掘調査を引き継ぐこととなった。

試掘調査は25カ所の畑に及び7.9haであった。その内2カ所の畑の約4,000㎡が遺跡ありとし、発掘調査が必要と判断した。

しかし、平成9年度中には予算の問題と発掘調査を町教育委員会ないし県教育委員会で行うことができないため、遺跡ありとした2カ所の畑については、平成10年度に発掘調査を行い、調査終了後に反転客土事業を行うこととなった。遺跡名については、小字名をとり、下野遺跡と上別府遺跡と命名した。

発掘調査は葉タバコの収穫後、平成10年8月より実施した。

2、遺跡の立地と環境

高城町は宮崎県の南西部に位置し、北は野尻町、東は高岡町、山之口町、南は三股町、西は都城市、高崎町に囲まれている。下野遺跡及び上別府遺跡は高城町の中心街より、北に10kmの所にあり、西を大淀川、南を有水川に挟まれたシラス台地上に位置している。

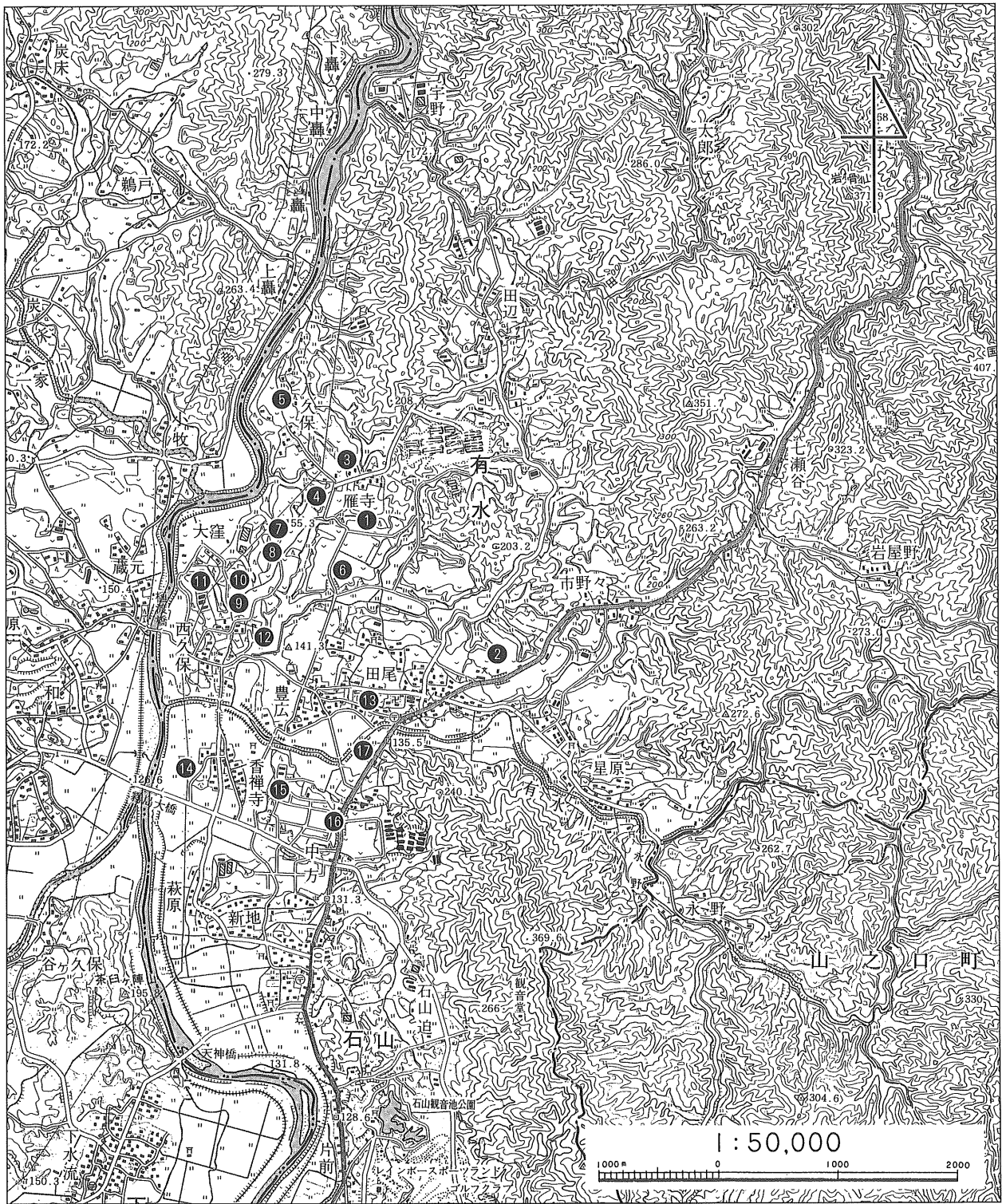
下野遺跡及び上別府遺跡周辺の遺跡は、文化庁文化財保護部発行の『全国遺跡地図 宮崎県』を見ると縄文時代の八久保遺跡、古墳時代の雁寺遺跡の他に県指定古墳が8基あり、有水川を越えた石山の香禅寺遺跡からは板石積石室が出土している。

しかし、近年、農地保全整備事業や民間開発が進み、いくつかの遺跡の発掘調査が行われた。上原第1、第2、第3遺跡、雁寺第2遺跡、山城第1遺跡からは縄文時代や古墳時代の竪穴住居が出土している。特に縄文時代の装飾品が数多く出土している。

3、調査の概要

下野遺跡・上別府遺跡の発掘調査は高城町教育委員会主体で、平成10年8月5日から12月4日の間行った。

調査対象面積は4,000㎡であったが、諸般の事情で3,500㎡となった。廃土置場が確保できないことから重機で半分剥いで、半分剥ぐという方法を使った。



第 1 図 下野遺跡・上別府遺跡位置図 (1/50,000)

- | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 1、下野遺跡 | 2、上別府遺跡 | 3、山城第1遺跡 | 4、雁寺第2遺跡 |
| 5、八久保遺跡 | 6、雁寺遺跡 | 7、上原第3遺跡 | 8、上原第2遺跡 |
| 9、上原第1遺跡 | 10、須田木城 | 11、下の城 | 12、高城古墳群21・22号墳 |
| 13、高城古墳群19・20号墳 | 14、香禪寺遺跡 | 15、高城古墳群16・17号墳 | |
| 16、高城古墳群15号墳 | 17、高城古墳群14号 | | |

下野遺跡の遺物包含層残存状況は良好であるが、東側から西側に傾斜しており、かなり厚い遺物包含層であった。遺物包含層の薄いところはトレンチャーで攪乱を受けていた。

遺物の出土量は遺跡の位置が台地の中央部に近かったせいも、周辺の遺跡に比べて、やや少ない感を受ける。遺物の時代は縄文時代後期～平安時代にかけての物が出土している。

遺構は柱穴や土壇が数多く検出されているが、時期は不明なものが多い。ただ、40～50cmの柱穴の径を持つ、掘立柱建物が2軒出土している。時期は平安時代の土師器が柱穴から出土しているのでその時期の建物だと考えられる。

上別府遺跡も遺物包含層残存状況は良好であり、下野遺跡と同様に東側から西側に傾斜しているが、下野遺跡ほど厚い遺物包含層に覆われていない。そのため遺跡全体にトレンチャーの攪乱を受けていた。

遺物出土量は平成9年度に20mほど離れている畑を発掘調査した時は、かなりの遺物出土量があったので、多くの遺物が出土すると予想されていたが、台地の中央部のため、遺物出土量は少なかった。

遺構は中央部に焼土を持つ土壇の他にいくつか土壇が検出されている。時期は縄文時代後期だと思われる。柱穴も多く検出されているが、明確なプランを組むことはできなかった。埋土は黒色土もしくは黒色土でスコリアを混じるものがある。

4、まとめ

現在、整理段階のため、詳しく考察することができないが、若干の私見を述べてみる。

今回の発掘調査は台地の中央部だったせいも、遺物量や明確な遺構が少ない。そのため遺跡の性格について、浮び上がるようなことが少ない。ただ、下野遺跡から出土した土師器は、上原第2遺跡から出土したものと類似している。

上原第2遺跡の土師器は高原スコリア直下の黒色土から出土している。そのため平安時代終末のものとしている。その土師器と同じ器形なものが、下野遺跡の掘立柱建物の柱穴から出土している。

高城町内で、平安時代の遺構が検出されたのは、城ヶ尾遺跡、上原第3遺跡について、3例目である。

高城町において、有水は町の中心より外れているため、一時期を除き登場する機会が少ない。しかし、近年、官道が現在の国道269号線ではなく、国道10号線を通っていたという説が出されるようになった。この説の真偽を知るためにも、このような調査の積み重ねが、色と色が重なると絵が浮かび上がるように、いつの日か歴史も浮かび上がらすことだろう。

第 II 章 葉タバコ反転客土工事に伴う試掘調査

1、調査に至る経緯

高城町教育委員会に平成10年1月19日付けで高城町農林振興課から、平成10年度の葉タバコ反転客土工事関係の書類の提出があった。事業内容を審査したが、何々地区で何㎡行うことしか書かれておらず、事業予定地が未定のため、文化財の有無の回答を出すことができなかった。そのため平成10年度の葉タバコ反転客土工事を円滑に進めることができるかどうか危惧された。

正式に平成10年度の葉タバコ反転客土工事事業予定地が決定し、高城町教育委員会に提出されたのは、平成10年6月22日付けであった。内容を見てみると、四家地区で4.03ha、有水地区で16.67haの計20.7haであり、10月末日まで終了ということであった。20.7haの試掘調査を4カ月ぐらいで終了というのは、なかなか難しく、最初から事業を円滑に進めるのに無理があり、他の遺跡発掘調査を行っているため、時間的にも難しい状態であった。そのため8月下旬頃しか実施することができず、他の遺跡発掘調査が終了していないため、毎週木、金、土曜日の3日間を試掘調査に当てることとした。

試掘調査の期間は平成10年8月20日～12月4日の間行った。

2、調査の内容

試掘調査は事業予定地のすべての畑に実施した。試掘調査のトレンチは2m×5mを基本とし、重機を使い掘削した。掘削後の清掃及び遺構掘りは作業員を使って行った。

反転客土工事は地力回復のために行う「天地返し」と同じような作業で、葉タバコの場合は耕作土として使用している表土に葉タバコの病気となる病原菌がいるため、地下深くの病原菌のいない土を重機を使って表土に持ち出し、病原菌がいる表土を地下に入れる作業である。病原菌は表土から地下に1.5～2mまで存在すると言われているので、一番深い所で約5m程掘り下げる。そのため有水地区では御池ボラ層下のアカホヤ層が表土に露出し、四家地区では小林軽石層下の茶褐色土層が表土に露出する。

各地区の基本的な層序は下記のとおりである。

[有水地区]

I層	表土	II層	高原スコリア	III層	黒色土	IV層	茶褐色土
V層	御池ボラ	VI層	黒色土	VII層	アカホヤ	VIII層	カシワバン
IX層	褐色土						

[四家地区]

I層	表土	II層	茶褐色土	III層	アカホヤ	IV層	カシワバン
V層	褐色土	VI層	褐色土	VII層	小林軽石		

出土遺物は有水地区では、御池ボラ層上の茶褐色土とカシワバン下の褐色土からで、四家地区はアカホヤ層上の茶褐色土とカシワバン下の褐色土からであった。

出土遺構は有水地区では、御池ボラ層上とカシワバン下の褐色土からで、四家地区はアカホヤ層上とカシワバン下の褐色土からであった。柱穴や土壇は多数出土したが、有水地区では、御池ボラ層上に弥生時代後期の竪穴住居跡やカシワバン下の褐色土から縄文時代早期の集石遺構が出土している。

また、四家地区の出土遺構はアカホヤ上に縄文時代の土壇やカシワバン下の褐色土から縄文時代早期の集石遺構が出土している。

3、まとめ

今回の試掘調査の面積は最終的には約23haに及んだ。事業予定地の箇所が108カ所もあり、広範囲に及んでいるため困難を極めた。高城町では平成7～9年度の3カ年で町内遺跡詳細分布調査を行っているので、それが参考になったが、遺跡の有無の判断は試掘調査を行わないことには、なかなか言えないので必ず試掘調査を行った。そのため今回の試掘調査は町内遺跡詳細分布調査の補足の意味である反面有意義な試掘調査であった。

遺跡詳細分布調査の遺跡範囲の線引きは広いような感じがしたが、試掘調査の結果を見ると、遺跡範囲は妥当であった。

葉タバコ反転客土工事業と同じ年度に試掘調査を行ったため、事業との調整に苦慮した。やはり事業開始年度の前年度に事業担当課で事業内容を決定し、試掘調査をしなければ円滑な流れにはならない。

有水地区試掘調査概要一覽表

地図番号	地番	遺跡有無	遺跡名	時代	遺跡番号	備考
①	有水1955-66 1155-69	×				工事着手
②	有水1695-37	×				工事着手
③	有水1691-3 1691-4 1691-5 1691-6 1691-7 1695-32 1695-33 1695-76	○	八久保 第3遺跡	縄文・弥生	5067	工事立会
④	有水1587-85 1587-79 1587-80	○	八久保 第2遺跡	縄文・弥生	5066	工事立会
⑤	有水1548-35	○	八久保 第2遺跡	縄文・弥生	5066	工事立会
⑥	有水1548-31	○	八久保 第2遺跡	縄文・弥生	5066	発掘調査必要と通知後、 事業予定地除外
⑦	有水1777	○	山城第2遺跡	縄文	5064	工事立会
⑧	有水1223-207 1223-208 1228-1	×				工事着手
⑨	有水1431 1432-1 1439	○	上原遺跡群	縄文・弥生 中世	5058	工事立会
⑩	有水1422-4	○	上原遺跡群	縄文・弥生・中世	5058	工事立会
⑪	有水1416-2	×				
⑫	有水2262-18 2262-19	○	雁寺第3遺跡	縄文・弥生 古墳	5061	工事立会
⑬	有水2262-3 2262-12 2262-22	○	雁寺第3遺跡	縄文・弥生 古墳	5061	工事立会
⑭	有水2295-4 2294-8 2294-9	○	下野遺跡	縄文・弥生	5023	工事立会

地図番号	地番	遺跡有無	遺跡名	時代	遺跡番号	備考
⑮	有水2310-3 2310-4	○	下野遺跡	縄文・弥生	5023	工事立会
⑯	有水2291-5 2291-6 2291-7 2291-10 2291-11	○	下野遺跡	縄文・弥生	5023	工事立会
⑰	有水2318-3	○	下野遺跡	縄文・弥生	5023	工事立会
⑱	有水2317-3 2317-4	×				工事着手
⑲	有水2607-6	○	豊広遺跡	弥生	5022	工事立会
㉑	有水1864-17	○	田辺第2遺跡	弥生・平安・中世	5039	工事立会
㉒	有水1864-15	×				工事着手
㉓	有水1864-11 1864-13 1864-14	○	田辺第2遺跡	弥生・平安 中世	5039	工事立会
㉔	有水2171-1 2172-1	○	田辺第2遺跡	弥生・平安 中世	5039	工事立会
㉕	有水2118-108	○	田辺第2遺跡	弥生・平安 中世	5039	発掘調査必要と通知後、 事業予定地除外
㉖	有水2156-1 2156-2	○	田辺第2遺跡	弥生・平安 中世	5039	工事立会
㉗	有水2118-93	×				工事着手
㉘	有水2159-1	○	田辺第2遺跡	弥生・平安・中世	5039	工事立会
㉙	有水3945-8 3945-7 3945-10	○	久井ヶ野 第1遺跡	縄文・弥生 平安	5036	工事立会
㉚	有水3172-1 3172-2 3173	○	中野第2遺跡	縄文・弥生	5030	一部工事立会 一部発掘調査必要と通知 後、事業予定地除外
㉛	有水3192-1 3198 3174-1 3174-2 3175-1 3176-3 3168-43	○	中野第2遺跡	縄文・弥生	5030	工事立会

地図番号	地番	遺跡有無	遺跡名	時代	遺跡番号	備考
③①	有水3237-1 3237-2	×				工事着手
③②	有水3007-1 3007-7	○	辻遺跡	縄文・弥生 中世	5018	工事立会
③③	有水3067-1 3068-1	○	辻遺跡	縄文・弥生 中世	5018	工事立会
③④	有水3502	○	上別府遺跡	縄文～古墳 中世	5019	工事立会
③⑤	有水3630	○	上別府遺跡	縄文～古墳 中世	5019	工事立会
③⑥	有水4002-1	○	小除遺跡	縄文・弥生	5035	工事立会
③⑦	有水3756-1	×				工事着手
③⑧	有水5743-2 5744 5744-1 5745	×				工事着手

四家地区試掘調査概要一覧表

地図番号	地番	遺跡有無	遺跡名	時代	遺跡番号	備考
①	四家808	×				工事着手
②	四家561-6 568-1 569-1	○	平八重 第3遺跡	縄文・古墳 平安	6004	工事立会
③	四家652-7 655-1	○	平八重 第4遺跡	縄文・平安 中世	6005	工事立会
④	四家	×				工事着手
⑤	四家364-1	×				工事着手
⑥	四家1049-19	○	椿遺跡	縄文・平安	6011	工事立会
⑦	四家1079-2 (25)	×				工事着手
⑧	四家1176	○	様ヶ野遺跡	縄文・弥生	6012	工事立会
⑨	四家1274 1276-2	×				工事着手
⑩	四家1584-1 1584-2	○	蓑野第1遺跡	縄文・弥生 中世	6013	発掘調査必要と通知後、 事業予定地除外
⑪	四家1588-1	×				工事着手
⑫	四家1618-10	○	蓑野第2遺跡	弥生・平安	6014	工事立会
⑬	四家1618-20	×				工事着手
⑭	四家1728-4 1743-1	×				工事着手
⑮	四家1797-3	○	蓑野第2遺跡	縄文・弥生	6014	工事立会
⑯	四家1840-2	○	蓑野第3遺跡	弥生・中世	6015	工事立会
⑰	四家1841-1 1841-2 1842-7	×				工事着手

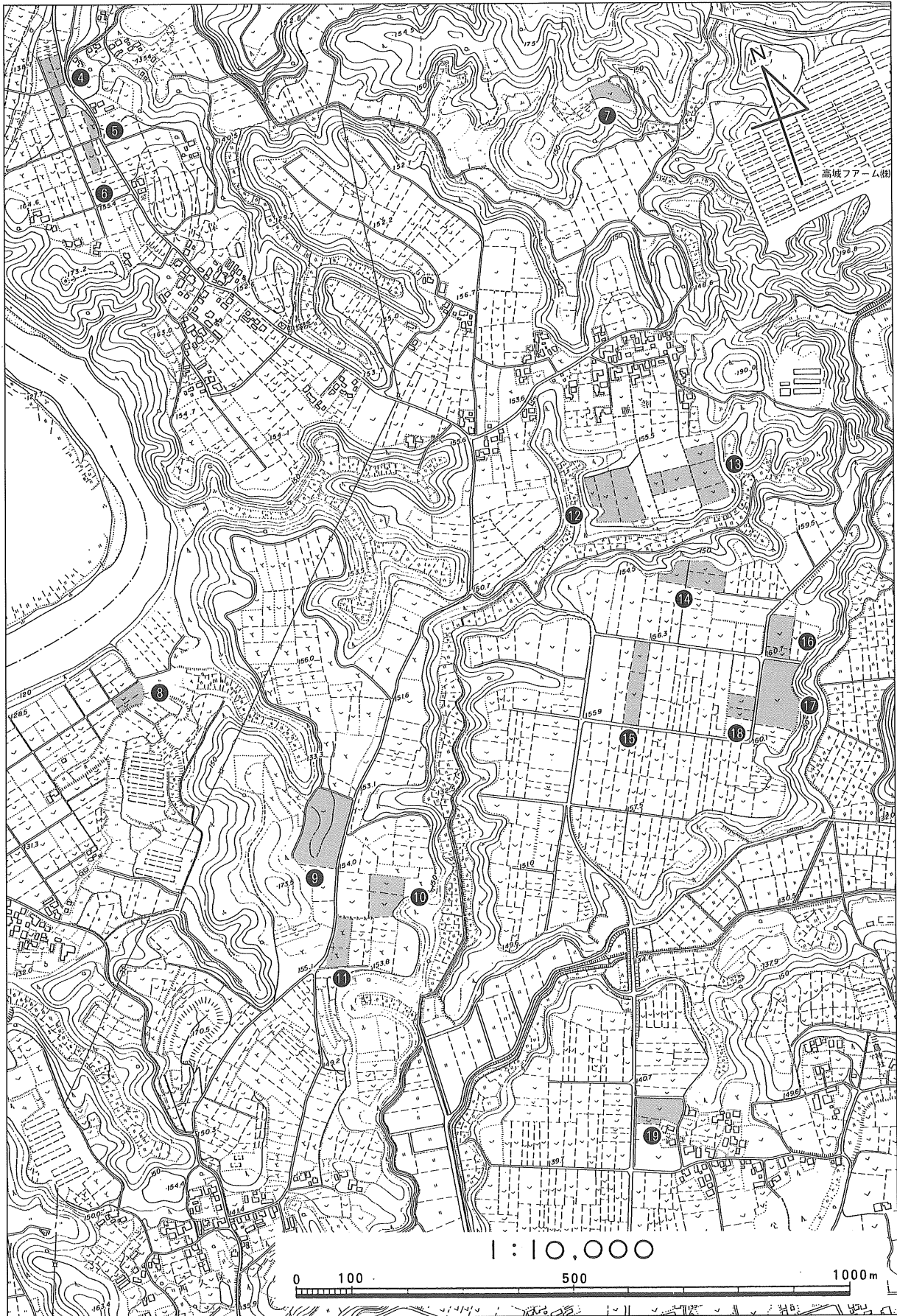
報 告 書 抄 録

ふりがな	かみべっぶ げの
書名	上別府遺跡 下野遺跡
副書名	平成10年度葉タバコ反転客土事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書
シリーズ名	高城町文化財調査報告書
シリーズ番号	第8集
編著者名	白谷健一
発行機関	高城町教育委員会
所在地	〒885-1202 宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊46-2 TEL0986-58-2317
発行年月日	1999年3月31日

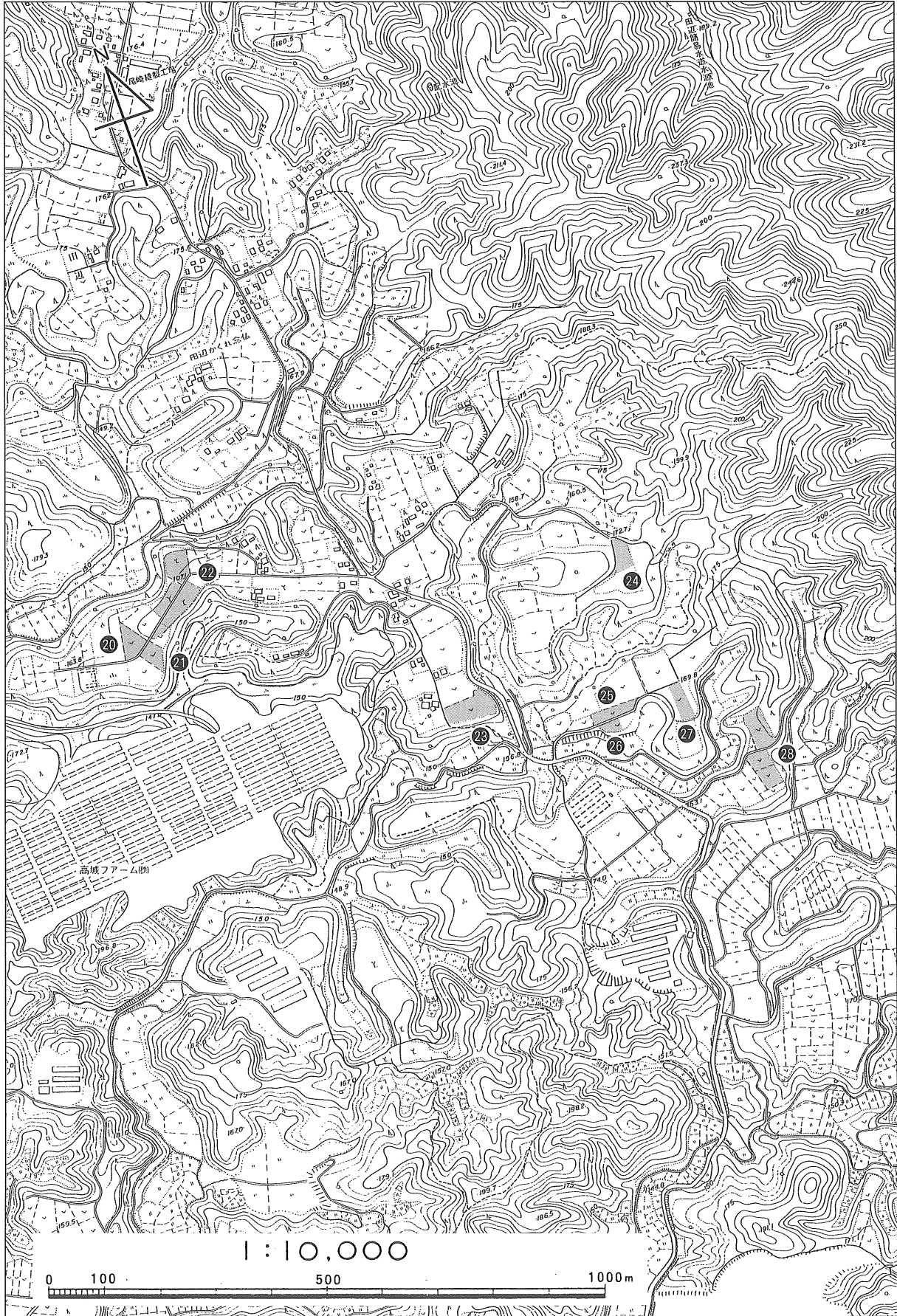
ふりがな	かみべっぶ	げの
所収遺跡	上別府遺跡	下野遺跡
ふりがな	たかじょうちょうおおあざありみずあざかみべっぶ	たかじょうちょうおおあざありみずあざげの
所在地	高城町大字有水字上別府	高城町大字有水字下野
市町村コード	453439	453439
遺跡番号	5019	5023
北緯 ° ' "	31° 51' 17"	31° 51' 48"
東経 ° ' "	131° 08' 48"	131° 08' 04"
調査期間	980805～	～981204
調査原因	葉タバコ反転客土工事	葉タバコ反転客土工事
種別	散布地	散布地
主な時代	縄文～古墳・中世	縄文～古墳・平安
主な遺構	土壙・柱穴	掘立柱建物・柱穴
主な遺物	縄文土器・土師器	縄文土器・土師器
特記事項		・平安時代の掘立柱建物



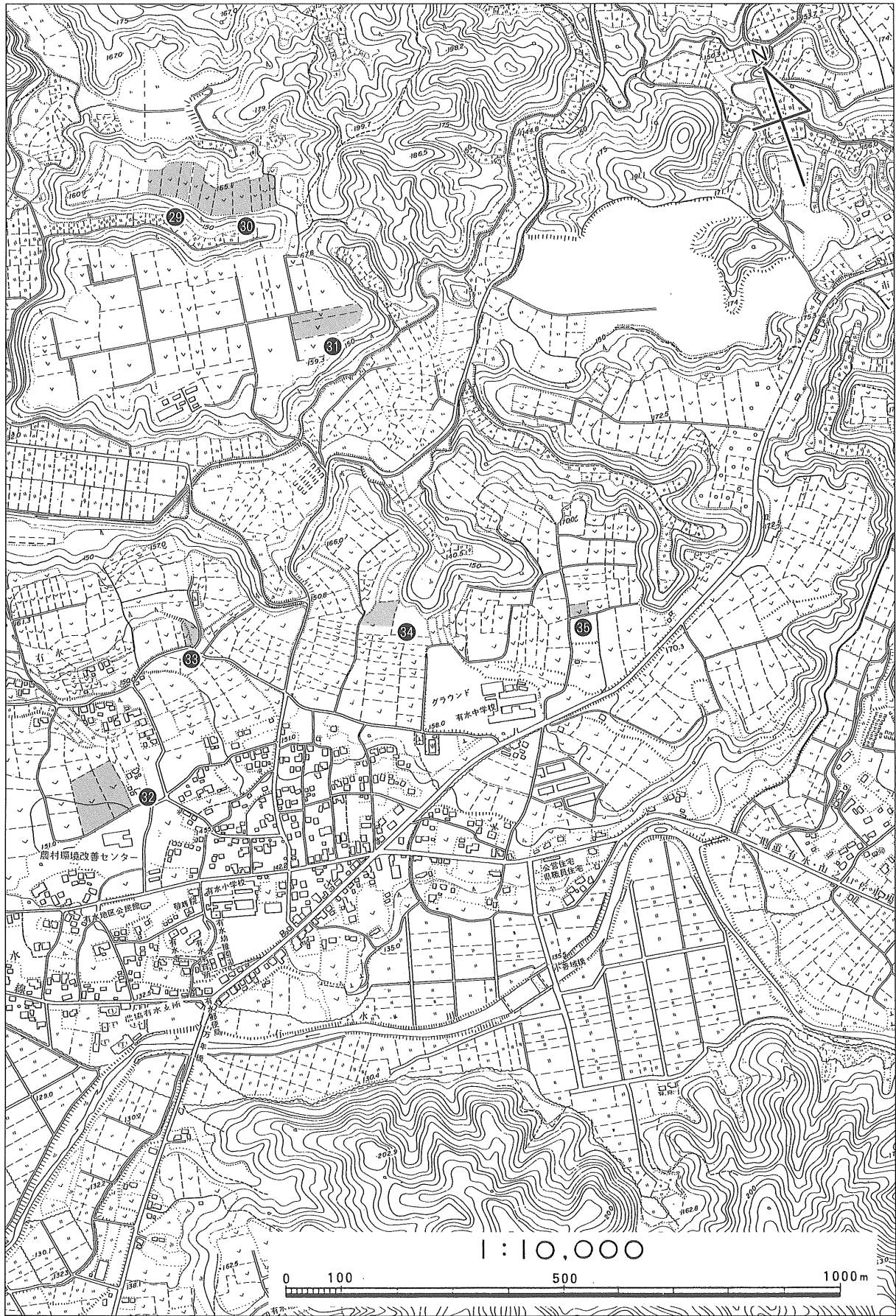
第 4 図 有水地区試掘調査場所位置図 1



第 5 図 有水地区試掘調査場所位置図 2



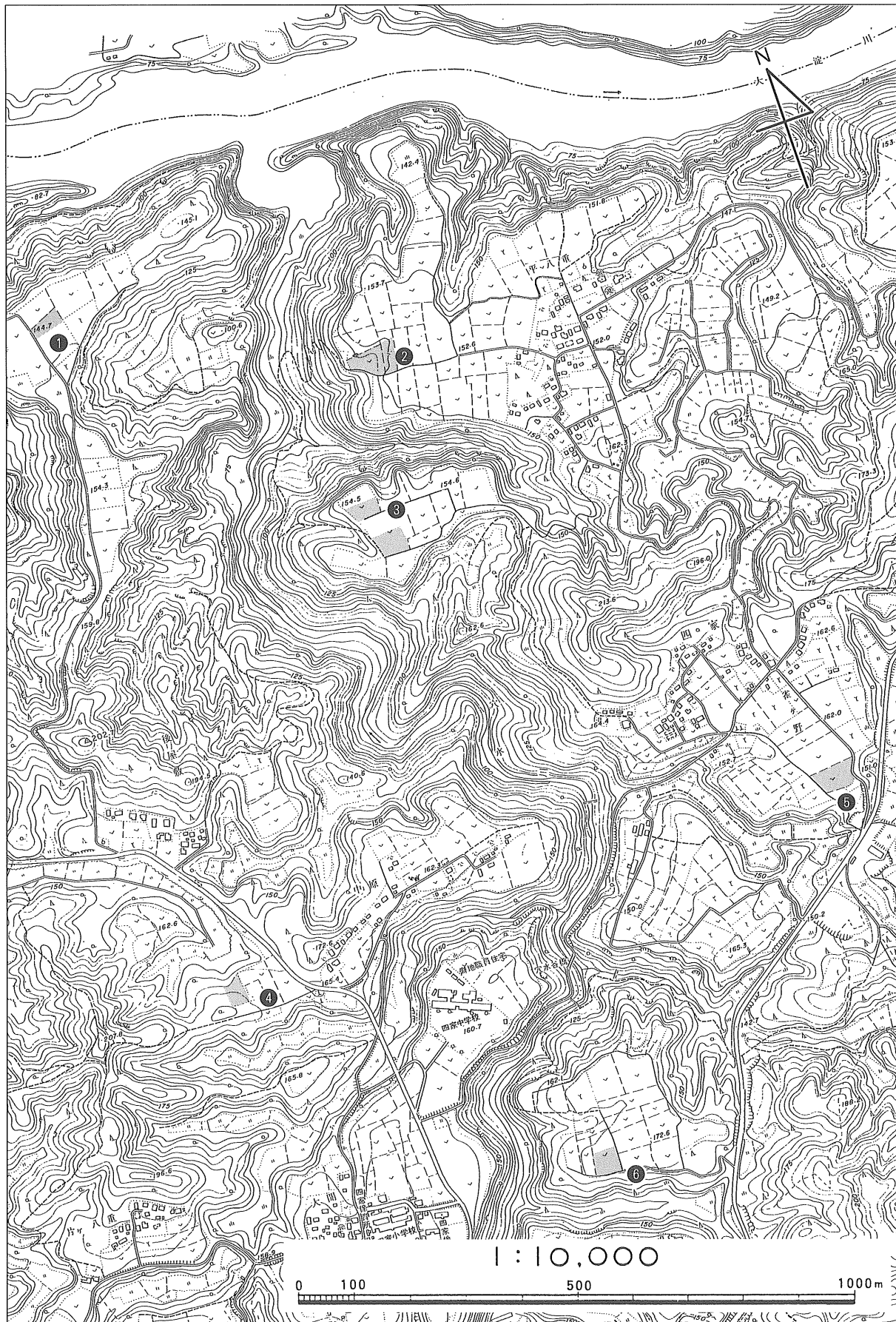
第 6 図 有水地区試掘調査場所位置図 3



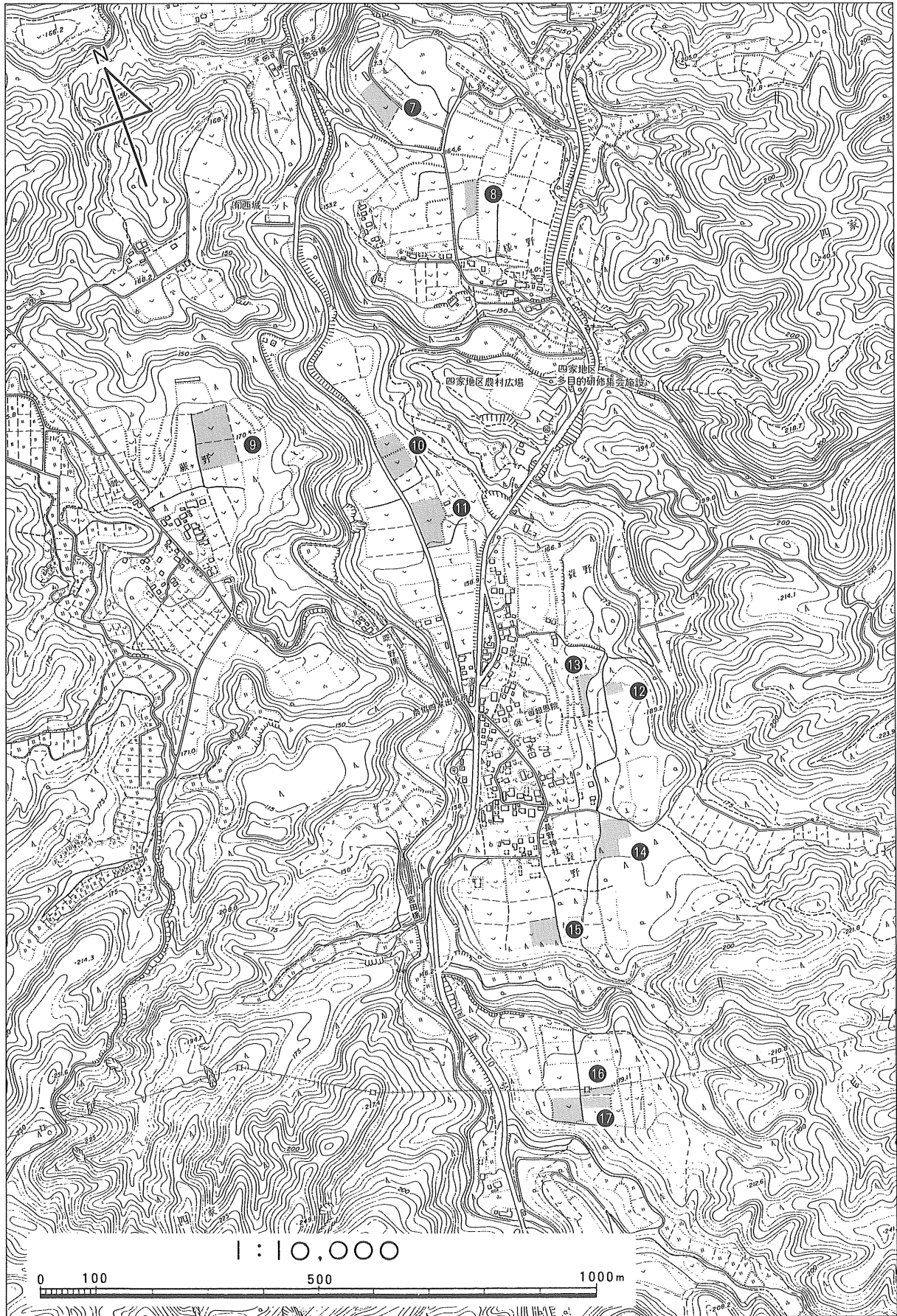
第 7 図 有水地区試掘調査場所位置図 4



第 8 図 有水地区試掘調査場所位置図 5



第 9 図 四家地区試掘調査場所位置図 1



第 10 図 四家地区試掘調査場所位置図 2

图 版



下野遺跡空中写真(1回目)



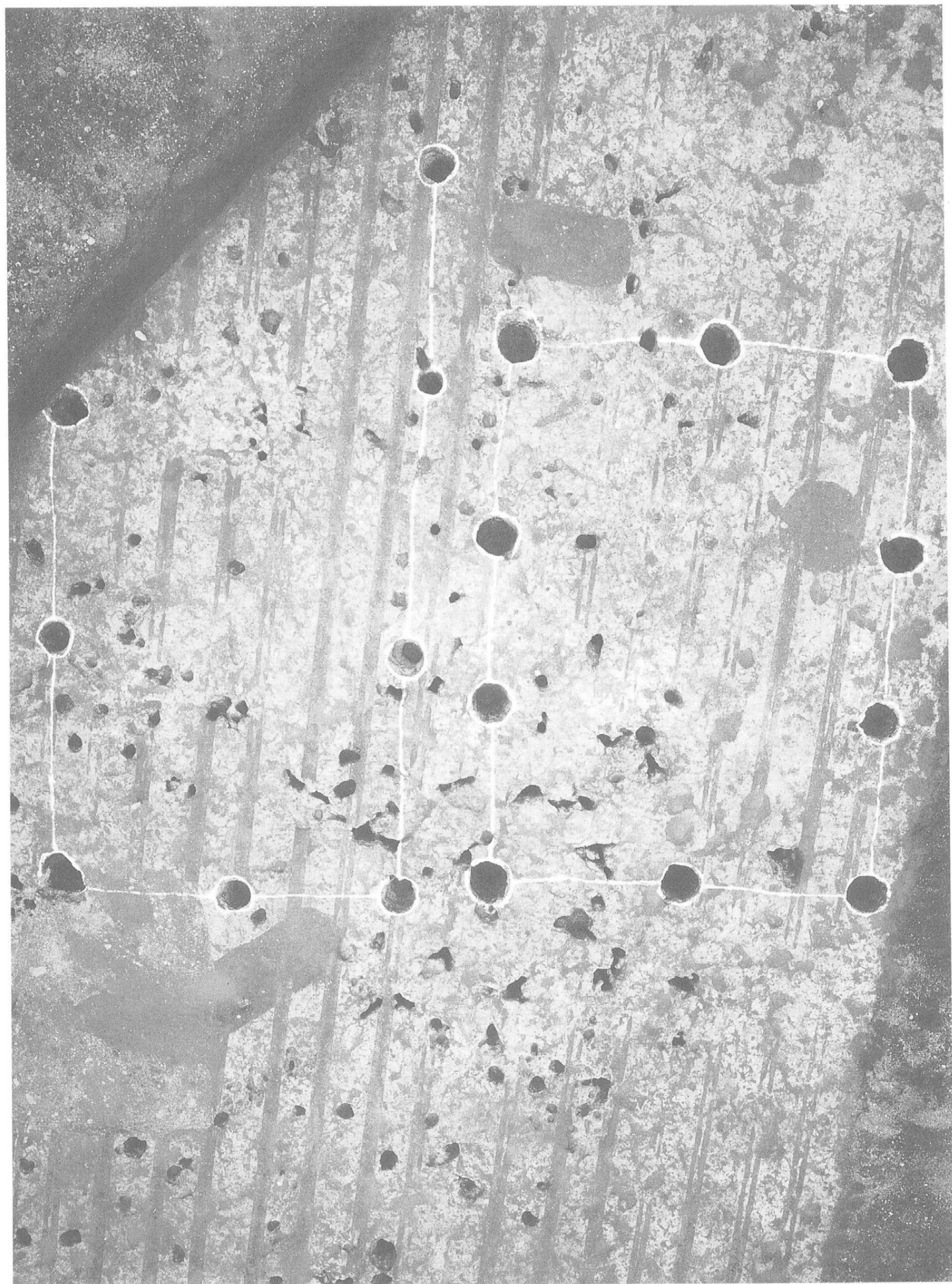
下野遺跡空中写真(2回目)



上別府遺跡空中写真(1回目)



上別府遺跡空中写真(2回目)



下野遺跡掘立柱建物跡



試掘調査トレンチ（有水⑥）



試掘調査トレンチ（有水⑬）



試掘調査トレンチ（有水②4）



試掘調査トレンチ（有水②4）



試掘調査トレンチ（有水㊸）



試掘調査トレンチ（四家㊸）

高城町文化財調査報告書 第8集

上別府遺跡

下野遺跡

発行年月 平成11年3月

発行 高城町教育委員会

印刷 株式会社 文昌堂